

《履修上の留意事項》【面接授業と遠隔授業の併用実施】

《担当者名》 坂上 哲可(リハ) 岩瀬 義昭(リハ) 本家 寿洋(リハ) 朝日 まどか(リハ) 児玉 壮志(リハ)

【概要】

リハビリテーションの理念を学ぶ。また、身体的リハビリテーション、精神的リハビリテーションおよび地域リハビリテーションにおける代表的な疾患と機能障害の考え方、およびアプローチ方法について学ぶ。また、講義全体を通して看護師とリハビリテーション専門職の連携のあり方を考える。

【学習目標】

- 1.各疾患や障がいの特徴を述べることができる。
- 2.各疾患におけるリハビリテーションの考え方とアプローチ方法を解釈できる。
- 3.障害を抱えた人の社会復帰していくための支援方法を説明できる。
- 4.地域リハビリテーションの理念と実施方法を関係づけることができる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	リハビリテーションの理念	リハビリテーションの理念とICFモデルを学ぶ。	坂上
2	運動器系障害者に対するリハビリテーション	末梢神経損傷の病態とリハビリテーションの考え方とアプローチ方法を学ぶ。	坂上
3	運動器系障害者に対するリハビリテーション	切断の病態とリハビリテーションの考え方とアプローチ方法を学ぶ。	坂上
4	運動器系障害者に対するリハビリテーション	関節疾患に対するリハビリテーションの考え方とアプローチ方法を学ぶ。	岩瀬
5	中枢神経系障害者に対するリハビリテーション	中枢神経系の運動障害に対するリハビリテーションの考え方とアプローチ方法を学ぶ。	坂上
6	中枢神経系障害者に対するリハビリテーション	中枢神経系の高次脳機能障害に対するリハビリテーションの考え方とアプローチ方法を学ぶ。	坂上
7	中枢神経系障害者に対するリハビリテーション	中枢神経系の嚥下障害・排泄障害に対するリハビリテーションの考え方とアプローチ方法を学ぶ。	朝日
8	中枢神経系障害のリハビリテーション	脊髄損傷に対するリハビリテーションの考え方とアプローチ方法を学ぶ。	坂上
9	神経難病者に対するリハビリテーション	神経難病に対するリハビリテーションの考え方とアプローチ方法を学ぶ。	岩瀬
10	精神障害者に対するリハビリテーション	統合失調症に対するリハビリテーションの考え方とアプローチ方法を学ぶ。	児玉
11	精神障害者に対するリハビリテーション	感情障害者に対するリハビリテーションの考え方とアプローチ方法を学ぶ。	児玉
12	地域リハビリテーション	地域におけるリハビリテーションと多職種との連携について学ぶ。	朝日
13	地域リハビリテーション	障害者が在宅生活を送るための環境整備について学ぶ。	朝日
14	がんのリハビリテーション	癌に対してのリハビリテーションの考え方とアプローチ方法を学ぶ。	本家
15	呼吸器・循環器障害者に対するリハビリテーション	閉鎖性肺疾患・虚血性心疾患に対するリハビリテーションの考え方とアプローチ方法を学ぶ。	坂上

【評価方法】

定期試験100%

【備考】

教科書 : 武田宣子 他編 リハビリテーション看護 医学書院 2015

参考書 : 藤井浩美 他編 日常生活活動の作業療法 中央法規 2014年

【学習の準備】

教科書を使ってに講義を進めますので、毎回必ず教科書を持参してください。
講義後は必ず講義の要点を復習してください。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

D P 2.4.5

【実務経験】

坂上哲可(作業療法士)

【実務経験を活かした教育内容】

リハ専門病院並びに脳神経外科病院の実務経験(9年)から、より実践的な評価・治療法について講義、指導する。